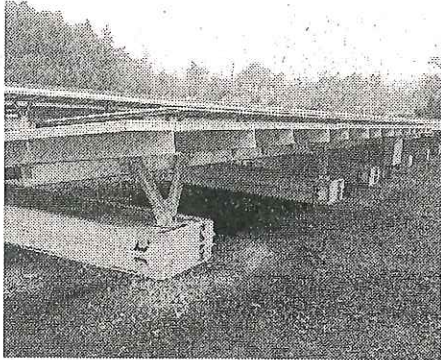


太陽光パネル部材参入

モリマーエスエスピー FRPで軽量架台

モリマーエスエスピー(大阪市中央区、森修平社長、06・6267・1521)は、繊維強化プラスチック(FRP)を使った太陽光発電パネル架台(写真)を開発した。FRPを使った成形事業を従来から手がけており、軽量性を持つ素材



と成形技術で太陽光パネル市場を開拓する。主要部材の垂木とコンクリート基礎部分にFRPを使用し、鉄製に比べ価格は2-3割高になるが、重量は約3分の

1に抑えられる。これまで太陽光発電向けパワーコンディショナ

の販売を展開。従来の型枠は鉄製が主流で、急斜地に太陽光パネルを設置する場合、軽量化が求められていた。耐塩性も併せ持ち、鉄製だとさびやすい沿岸部でも使用できる。今後、全ての部材のFRP化を検討する。